

## 神奈川県立公文書館の書庫について

平成30年10月9日

## 1. 神奈川県立公文書館内の書庫について

## (1)各書庫について

書庫名	主な保存文書	延べ床面積 (㎡)	書架延長 (m)	使用済み書架延長	
				(m)	(%)
1号書庫	歴史的公文書	460	※2,198	1,950	88.7
2号書庫	作成後5年を経過した10年及び30年保存の簿冊形態の現用文書	370	3,958	3,885	98.2
3号書庫	歴史的公文書、神奈川県史編纂のために収集された資料	680	6,956	6,336	91.1
4号書庫	古文書	280	1,119	1,032	92.2
5号書庫	古文書	180	497	490	98.5
6号書庫	歴史的公文書、行政刊行物、図書類	680	6,006	5,769	96.0
7号書庫	歴史的公文書	460	2,559	2,559	100.0

※1号書庫の数値は、9月末日現在設置されている書架について調査したもの。(10月12日(金)に書架3台設置予定。設置後の書架延長は約2,213m)

## (文書の種類ごとの占有状況)

歴史的公文書	93.7%	(1・3・6・7号書庫の平均)
古文書	94.1%	(4・5号書庫の平均)
中間保管庫	98.2%	(2号書庫)

## \* 中間保管庫

本庁機関の保存期間10年及び30年の文書については、文書完結後5年を経過した時点で総務局文書課等から公文書館が「引継」を受け、保存期間満了まで一括して中間保管庫に保存する。

保存期間が満了した時点で公文書館への「引渡し」が行われる。

法的には現用文書であるが、本庁機関の保管スペースの負担を軽くするとともに、将来選別保存される可能性の高い重要な文書が良好な環境で保存される、組織再編等があってもスムーズな引渡しが可能になる、災害による破損滅失等の危険に対しても有効、などの利点がある。

(2) 今後の書架増設計画について

計画 (年度)	進捗 (年度)	内容
H27	H27	1号書庫レール敷設（全部）
↓	↓	1号書庫移動棚可動複式4連6段設置①…書架 4.1m追加
H28	H28	// ②… //
↓	↓	// ③… //
H29	↓	// ④… //
↓	H29	// ⑤… //
H30	↓	// ⑥… //
↓	↓	1号書庫移動棚可動複式5連6段設置①…書架 5.1m追加
H31	H30	// ②… //
↓	↓	// ③… //
H32	↓	// ④… //
↓	(H31 (予定))	// ⑤… //
H33	⋮	3号書庫レール敷設
H34	↓	3号書庫移動棚可動複式7連6段設置①…書架 7.2m追加
↓	↓	// ②… //
H35	↓	// ③… //
↓	↓	// ④… //
H36	↓	// ⑤… //
↓	↓	3号書庫軽量棚基本単式6連6段設置①

- 現状、計画時の1～2年前前倒して書架新設を進めている。
- 平成31年度は、3号書庫のレール敷設と、1号書庫の書架1台購入を予定。  
可能ならば、3号書庫にもう1台移動書架を購入する。
- 完了時の書架延長は、以下のとおりとなる予定。  
1号書庫  $2,198\text{m} + 20.4\text{m} = 2,218\text{m}$   
3号書庫  $6,956\text{m} + 36.0\text{m} = 6,992\text{m}$